令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『新選日本史Ｂ』（東京書籍）						
副教材等	『図説　日本史通覧』（帝国書院）、『新選日本史Ｂワークノート』（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①歴史を考察する基本的な方法を理解させるとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。
②歴史的資料ならびに史料に着目して、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解させ、歴史を読み取らせる。
③生活様式や精神生活に注目、同時に世界の中の日本を考えさせる。

２　学習の到達目標

日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、人間としての感性と国際社会に主体的に生きる資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付き、関心をもって主体的に学習に取り組めている。	日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、多角・多面的に考察しているか。課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法を選んで効果的に表現している。	日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用し、歴史を探求する学び方を身に付けている。	基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、各時代の特色を理解している。
評価方法	授業プリント ワークシート	定期考査 授業プリント ワークシート	定期考査 授業プリント ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第１章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1，原始社会の生活と文化	･更新世の日本 ･縄文文化	○	○	○	○	a:日本列島の誕生や日本人の形成に関心をもち、旧石器時代・縄文時代の文化について意欲的に課題を追究しようとしている。 b:旧石器文化や縄文文化の特色について、自然環境の変化や出土資料などを通して考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:旧石器時代や縄文時代の遺跡から出土した石器などの考古学的遺物を観察し、情報を正確に読み取っている。 d:旧石器文化や縄文文化の特色に関する知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート
	2，農耕社会の形成と大陸文化の摂取	･弥生文化と小国家の形成 ･大和王権と古墳文化	○	○	○	○ ○	a:大和王権の成立過程に関心をもち、大陸からの新しい文化について意欲的に追究しようとしている。 b:大和王権が成立した背景、中国との交渉の目的、古墳文化の特色などを考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:中国史書の内容や古墳の構造・副葬品の特色についての情報を正確に読み取っている。 d:大和王権の成立背景や支配構造に関する知識を身に付け、古墳文化の展開や新たな大陸文化の伝来について理解している。	定期考査 授業プリント ワークシート
	3，律令国家の形成と古代文化の展開	･飛鳥の朝廷と文化 ･律令国家の成立と白鳳文化 ･平城京と天平文化	○ ○	○ ○	○	○	a:大化の改新を経て律令国家が形成されていく過程に関心をもち、律令国家のしくみを意欲的に追究しようとしている。 b:奈良時代の激しい政治争いなどの背景を考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:憲法十七条などの文献史料を読解するとともに、律令国家の形成に向けた課題について史料から情報を読み取っている。 d:律令国家の形成にいたる大きな政治的事件について理解し、中央集権体制のしくみに関する知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート

	4，摂関政治と文化の和様化	・平安遷都と唐風文化 ・貴族社会と摂関政治 ・国風文化 ・院政と荘園 ・平氏政権の登場	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	a: 平安京への遷都や摂関政治、院政という政治形態が生まれた歴史的背景に関心をもち、意欲的に課題を追究しようとしている。 b: 平安初期に律令体制の再建が進んだ背景や、武家政権としての平氏政権が成立した意義を自らの言葉で適切に表現している。 c: 系図を活用し、藤原氏が天皇と密接な関係を築き上げたことや、絵巻物などの絵画資料から平安時代の貴族がおくっていた生活のイメージを具体的に描いている。 d:摂関政治、院政の特色や平氏政権の成立にいたるまでの武士社会の動向を理解し、平氏政権の特色に関する知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート
二学期	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1，中世社会の成立	・鎌倉幕府の誕生 ・執権による政治 ・元寇と社会の変貌 ・鎌倉の仏教と文化	○ ○	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	a: 源頼朝のもとに武士が集まった理由や元寇に関心をもち、幕府の成立過程に関わる課題や影響を意欲的に追究しようとしている。 b:鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活、元寇の影響と御家人社会の変貌について考察し、自らの言葉で適切に表現している。 c:貨幣経済の進展について『一遍上人絵伝』に描かれた市場の様子や永仁の徳政令の史料などから適切に情報を読み取っている。 d:鎌倉幕府の機構や将軍と御家人の関係、元寇の背景や影響について理解し、得宗権力の強化、新たな仏教の特色について基本的な知識を身に付けている	定期考査 授業プリント ワークシート
	2，武家社会の形成と東アジア	・室町幕府の創設 ・倭寇と東アジアの交易 ・下克上の社会と戦国大名 ・室町文化	○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	a: 建武の新政が短期間で崩壊した背景や倭寇に関心をもち、室町幕府の成立に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。 b:下剋上の動向を進めた主体としての民衆の活動の基礎となった産業経済の発達について考察し、一揆などの具体的な庶民の活動について自らの言葉で適切に表現している。 c: 建武の新政をめぐる混乱の状況について『二条河原落書』の史料からわかる情報や、倭寇の活躍した地域の分布、日明・日朝の交通路の特色について東アジアの地図から情報を適切に読み取っている。 d: 鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の創設、応仁の乱から戦国の争乱の経緯にいたる歴史的推移を理解し、幕府のしくみや守護による地方支配の様子などに関する知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート

三学期	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1,ヨーロッパ文化との接触と国内統一	・ヨーロッパ文化との接触 ・織豊政権による全国統一 ・桃山文化	 ○ 	○ ○ 	○ ○ ○	 ○	a:織田信長や豊臣秀吉の統一事業に関心をもち、豊臣政権の政策がもたらした社会的変革に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 b: 豊臣秀吉が実行した検地・刀狩の目的や結果を考察し、従来の社会からの大きな変化について自らの言葉で適切に表現している。 c:刀狩令の史料から豊臣秀吉の意図やその内容について、情報を適切に読み取っている。 d:鉄砲とキリスト教の伝来や、織田信長と豊臣秀吉の天下統一の過程について理解し、検地と刀狩、朝鮮侵略、桃山文化に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート
	2,幕藩体制の成立 3,近世社会の発達と町人文化 4,幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	・江戸幕府と大名・朝廷 ・身分制度の確立 ・キリスト教禁止と鎖国 ・幕府政治の進展 ・経済と産業の発達 ・学問の新傾向と元禄文化 ・幕藩体制の動揺と政治改革 ・幕藩体制の危機 ・新しい学問の形成と化政文化	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:江戸幕府の組織や鎖国下の交易の実態や、生類憐みの令などに関心をもち、政治の転換について意欲的に課題を追究しようとしている。井原西鶴や近松門左衛門などの文学作品に関心をもち、文化の展開について意欲的に課題を追求しようとしている。 b: 大名統制の特色である参勤交代の意義や、幕藩体制の特色、江戸時代に鎖国政策が行われた背景を考察し、幕府による貿易の統制やキリスト教の禁止という側面について自らの言葉で適切に表現している。享保の改革・田沼政治・寛政の改革におけるそれぞれの政策の特徴について自らの言葉で適切に表現している。 c:幕府の統制に関する史料や、貨幣改鋳をめぐっての金貨の成分比の推移を示したグラフ、異国船打払令の史料などから幕府の政策について、情報を適切に読み取っている。 d:幕藩体制の形成にいたる経緯や、鎖国政策の特色、幕政改革 19 世紀における幕藩体制の内外の危機について理解し、基本的な知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。